

にいがた 畜産協会たより

公益社団法人
新潟県畜産協会

新潟市西区山田字堤付2310-15
全農にいがた第2ビル内
TEL. 025-234-6781
~6783



特集

- ① 2019年度下半期イベント情報
- ② 川作ファーム(株) 農場HACCP認証農場紹介



農場HACCP認証農場に認証された川作ファーム(株)とそのHACCPチームメンバー（関連記事6ページ）

目次

- ◆特集① 2019年下半期イベント情報
 - ・ふれあい畜産フェスタ2019の紹介 …… (2)
 - ・優秀畜産表彰受賞者の紹介
養豚経営：島田 福德…………… (3)
 - ・畜産経営セミナー及び優秀畜産表彰会
開催のお知らせ…………… (3)
 - ・親子料理教室開催のお知らせ…………… (4)
 - ・にいがた和牛肥育名人の紹介…………… (4)
 - ・金沢競馬場訪問レポート…………… (5)
 - ・県民公開講座レポート…………… (5)
- ◆特集② 川作ファーム(株)
農場HACCP認証農場紹介 …… (6)
- ◆声のコーナー …… (7)
 - 「スタート」
養豚経営：有限会社アースレンジャー
渋川 伸也
 - 「目から鱗の毎日」
JA全農にいがた 畜産課 佐久間千晶
- ◆畜産安心ブランド生産農場だより…………… (8)
- ◆ちくさん女子の窓…………… (8)
- ◆編集後記…………… (8)

ふれあい畜産フェスタ2019が開催されます

毎年恒例の秋の大イベントとなっている「ふれあい畜産フェスタ2019」（主催：新潟県畜産振興協議会）が次のとおり開催されます。

日時：令和元年10月19日（土）
9：30～16：00
（※物販は10：00から開始）
場所：新潟ふるさと村
（新潟市西区山田2307）

昨年度に引き続き、今年も実施される主なコーナーは次のとおりです。

- イベント広場での各ステージイベント
- 県産畜産物の販売
- 動物ふれあい広場（※15：00まで）
- 畜産物の加工体験

にいがた和牛推進協議会 出展！

また、当協会が事務局である「にいがた和牛推進協議会」も昨年度に引き続き出展します。新潟県産和牛のブランドである「にいがた和牛」の消費拡大・おいしさを皆様にPRすべく、協議会会員の食肉会社（よねー）からご協力をいただき、「にいがた和牛」を売り切れ御免の会場限定特別価格で販売します。さらに、今年は「にいがた和牛」をその場で楽しめるメニューも登場するとか！？どんなメニュー、美味しさかはぜひ会場でチェックしてみてください。



（昨年度のにいがた和牛推進協議会出展の様子）

（公社）新潟県畜産協会 初出展！

そして、今年は「（公社）新潟県畜産協会」としてもふれあい畜産フェスタへの出展があります。主に次のとおりコーナーを設ける予定です。

- 畜産関係のアンケート
- どうぶつクイズ
- 畜産PRブース

大人だけでなく小さいお子様にもわかりやすく、楽しく畜産に触れられる内容となっております。

にいがた畜産女子会 初出展！

さらに、「にいがた畜産女子会」（事務局：（公社）新潟県畜産協会）も出展します。様々な場所で積極的に活動を行っている彼女たちが、今年はこちらのイベントに参加決定することになりました。次の商品を販売予定です。

- ナチュラルチーズ、飲むヨーグルト
- 豚精肉、鶏卵、米、いちじく



（昨年度のにいがた畜産女子会活動の様子）

こちらで紹介した以外にも、様々な楽しいイベントが目白押しです。ぜひ、お近くへ起こしの際は、新潟ふるさと村へ足を延ばしてみてください。

島田 福德さん 優秀賞受賞 畜産経営セミナー及び優秀畜産表彰会開催のお知らせ

優秀畜産表彰受賞者の決定

当協会では、優れた経営実績を上げている畜産経営体を発掘して表彰するとともに、その技術や経営手法等を広く県内に紹介して普及浸透を図る優秀畜産表彰事業を毎年実施しており、9月18日（水）に開催した優秀畜産表彰会審査委員会の結果、津南町の島田福德さん（養豚経営）が優秀賞を受賞しましたので、主な取り組み内容等を以下のとおり紹介します。

優秀賞

養豚一貫経営（一部子豚販売） 島田 福德^{よしのり}

日本では珍しい母豚のフリーストール方式を平成20年度に導入し、ICタグとパソコンの活用により給餌量、発情、分娩、ワクチン接種履歴等の管理を行って繁殖成績の向上を図っている。

また、自家堆肥を使ったスイートコーン栽培など循環型農業の実践、エコフィードの活用、地域ぐるみの防疫対策・仲間づくりなど、参考となる経営です。

●フリーストール方式の導入で簡易かつ的確な管理をすることにより、導入前に低迷していた繁殖成績が導入翌年の平成21年度には向上しはじめ、直近の平成30年度では県の指標値を上回るまでに飛躍的に向上している。さらに豚が自由に歩き回ることによって強健な足腰となり、疾病の低減につながるなどメリットも多い。

●生産した堆肥はほぼ100%自家利用して循環型農業を実践している。現在は水稲1.2ha、スイートコーン13ha、にんにく2.2haを栽培しており、スイートコーンは「鬼もろこし」、にんにくは「鬼の宝」として商標登録している。なお、スイートコーンとにんにくは農産物の国際基準であるグローバルGAPを取得し、有利販売につなげている。

●フリーストールを導入した平成20年から、エコフィードを肥育豚に給餌している。全給餌量の約20%を配合飼料からエコフィードに代替することにより、生産コストの低減に努めている。

●地域をあげて防疫に取り組んでおり、獣医師指導の下で消毒槽設置、石灰散布など基本的な対策はもちろん、立入禁止看板の設置による部外者の立ち入

り制限、靴底洗浄による汚物除去の徹底等、衛生プログラムの遵守徹底等に努めている。なお、平成18年には畜産協会から畜産安心ブランド生産農場（クリーンポーク生産農場）に認定されている。

●平成19年から毎年、新潟県国際農業交流協会のアセアン農業研修生を受け入れている。農業研修を通じて、日本の先進的な技術、経営手法を習得してもらえるように日々、研修生に接している。今まで、13人の研修生を受け入れたが、帰国後はそれぞれが自国において自らが習得した技術を波及させ、地域農業の中心的存在として活躍している。

●平成26年、津南町及び隣接する十日町市の若手ファーマーズで、活動グループ「チャーはん」を設立し、農業を通じた地域活性化や販路開拓など地域の農の可能性を広げるべく様々な活動に取り組んでいる。



フリーストールでくつろぐ母豚と島田さん

畜産経営セミナー及び優秀畜産表彰会 ～開催のお知らせ～

畜産経営の更なる発展に資するため、「畜産経営セミナー」を開催します。

講師としてお招きする前田勉さんは長野県の酪農家であり、牛群検定の有用性を広めながら自らも牛の改良を行い、夢と希望をもった酪農経営を展開しておられます。

また、優秀賞を受賞された島田福德さんの表彰及び経営管理技術や取組内容等の事例発表も行いますので、多数のご参加をお待ちしております。

- 日時 11月6日（水）13：30～15：00
- 場所 JA全農にいがた県本部 大会議室
- 優秀畜産表彰会 島田福德 様
- 畜産経営セミナー

講演 前田牧場 前田 勉 様（長野県高山村）
『我が酪農人生に夢あり』

※ 詳細は当協会ホームページをご覧ください。

12月開催予定イベント及びにいがた和牛肥育名人認定のお知らせ

集まれ小学生!!



親子クリスマス料理教室を開催します

昨年度、ハロウィン料理で大好評だった親子教室…今年もクリスマス料理で開催します!!

県産の乳製品や豚肉を使って美味しい料理とスイーツを作り、畜産への理解を促進するとともに、県産畜産物の知名度向上と県産畜産物の消費拡大を図ることを目的としています。

- と き：12月7日（土）10：00～13：30
- ところ：新潟ユニゾンプラザ調理実習室
（新潟市中央区上所2-2-2）
- 講 師：和田小百合さん
（ガーデンカフェかものはしオーナー）

※詳細は今後、ホームページに掲載予定です。



にいがた和牛肥育名人を認定しました

にいがた和牛推進協議会（会長 花角英世知事）では、会員から「にいがた和牛肥育名人」候補として推薦のあった肥育経営者のうち、認定基準を満たしている経営者を「にいがた和牛肥育名人」に認定し、にいがた和牛の品質の高位平準化や生産振興、販売拡大対策を図っています。

この度、平成28年度に認定した肥育名人について、3年間の認定期間が経過したことから、9月6日の幹事会にて選定委員会を開催し、次の11名を肥育名人に決定しました。

にいがた和牛肥育名人

氏名	住所	氏名	住所
野村吉夫	村上市朝日中野	時田卓	村上市中野
小田由記夫	村上市小須戸	田口正一	長岡市中之島中条
山賀治彦	村上市小須戸	関克史	長岡市山古志東竹沢
菅原健一	村上市大関	高橋勝美	十日町市勘平
漆間平	村上市大関	渡辺洋一	上越市名立区平谷
遠山幸一	村上市金屋		

○認定期間：平成31年4月1日～令和4年3月31日

詳細は
「にいがた和牛推進協議会」
HPをご覧ください。



（公社）中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報

がんばる!畜産!3

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!
配信中的内容：IoT技術の活用／農場HACCP／搾乳ロボット／他



◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産 🔍



（公社）中央畜産会 経営支援部（情報） TEL03-6206-0846



金沢競馬場 訪問レポート

当協会は、地方競馬全国協会の補助を受け、畜産経営の支援体制の強化、馬事普及啓発の推進体制の強化等の畜産振興事業に取り組んでおります。

去る9月8日（日）、地方競馬の振興等を目的とした北陸四県馬事畜産振興協議会が北陸地方唯一の地方競馬「金沢競馬場」にて開催されましたのでレポートします。

会議で金沢競馬場の業績概要の説明や今年度の事業計画などを協議した後、競馬事業局様のご厚意により馬主席来賓室で競馬観戦をさせていただきました。私も第6レース「公益社団法人新潟県畜産協会長賞」に投票しましたが…結果は惨敗…競馬の難しさ・奥深さ・楽しさ・面白さを勉強させていただきました（笑）

フェーン現象で気温33℃を超える中、屋外では石川県畜産協会の職員さんが「畜産フェア」を開催しており、お客様にスピードくじ抽選で畜産物をプレゼントしていました。この企画も来場者増加への一助となっているようです。



皆さん、競馬場のイメージが変わっているのはご存じですか？建物内は全面禁煙で、お子様連れのご家族や若い女性グループが増えたのが印象的でした。女性専用休憩室やベビールーム、キッズルーム、さらには初心者専門窓口の設置など、若い世代や女性が気軽に来場できる競馬場へと生まれ変わっています。

新潟市から特急&新幹線で3時間半ほどの金沢市。金沢駅からは競馬場まで無料バスが運行されています。金沢の観光がてら競馬場に足を運んでみては



いかがでしょうか？冷たいビール、寿司、ラーメン、丼物など競馬場グルメも充実していてオススメですよ。（谷川 記）

県民公開講座を開催

9月27日（金）、新潟テルサ2階特別会議室において、当協会が認定を推進する「畜産安心ブランド生産農場」の食の安全・安心への取り組み状況や「畜産物と健康」に関する正しい情報を県民の皆様に提供することで健康増進を図っていただくことを目的として、当協会の主催で共催として新潟県畜産振興協議会、また、公益社団法人新潟県栄養士会、公益社団法人新潟県食品衛生協会、特定非営利活動法人新潟県消費者協会及び新潟市食生活改善推進委員協議会に後援をいただき、県民公開講座を開催しました。

当日は約50名の参加があり、新潟青陵大学短期大学部人間総合学科准教授の海津夕希子先生を講師にお迎えして、「健康をサポートする畜産物の魅力に着目！」と題した講演をしていただきました。動画とスライドを組み合わせた分かりやすい講演の内容は、「牛乳の優れたカルシウム吸収率」「卵に多く含まれるコリンに認知機能を上げる研究報告」「豚肉のビタミンB1含有量の豊富さ」「鶏肉の疲労回復作用について」「牛肉の脂肪燃焼作用について」などの有用な情報が、それらの畜産物をおいしく食べるためのレシピとともに紹介されており、アンケートの結果では来場された多くの方々から「参考になった」「とても参考になった」との意見を頂きました。



当日の様子

新潟県で2例目、養豚では初の認証

～「川作ファーム株式会社 本場」が農場HACCP認証を取得～

農場HACCP認証農場第256号に認証される

令和元年8月8日の農場HACCP認証協議会の認証審査会（事務局：公益社団法人中央畜産会）において、「川作ファーム株式会社」が新潟県で2農場目、養豚では初の認証農場となりましたので、その取組状況について紹介します。

農場HACCP認証農場への取組の動機

平成28年に食の安全性への意識の高まりに応えるために農場内における危害要因分析を行い、全員が共有可能な管理マニュアル作りを行いたいとの経営者の強い意向から県内の養豚農場では初となる取組を開始しました。

取組農場の概要

グローバルピッグファーム（株）に所属し、新潟市西蒲区でメンバー農場として計4か所の農場を持ち、「越後もちぶた」「和豚もちぶた」を年間2万頭出荷する繁殖肥育一貫型の農場です。

今回、農場HACCPに取り組んだのは本社所在地にある繁殖農場と肥育農場の2か所です。

構築に向けた取組状況

平成29年4月、現場スタッフである長谷川大樹さんをHACCPチームリーダーとし、経営者の川上克代表取締役社長、スタッフ3名、家畜保健衛生所、当協会の8名で取組を開始しました。

平成29年度7回、30年度7回、令和元年度2回の計16回のチーム検討会を重ね、取組を始めてからおよそ2年半の歳月をかけて認証基準の第1章の経営方針から第7章に至るまでの書類を作成、平成30年3月30日認証農場の前の段階である農場HACCP推進農場への指定を経て令和元年7月10日、農場HACCP認証現地審査を受審し、令和元年8月8日付で公益社団法人中央畜産会から農場HACCP認証農場第256号を取得しました。

県内におけるHACCPの取組状況

現在、県内で2農場（酪農と採卵鶏農場）が認証に向けて取組中であり、今後取組農場が増えるものと期待されます。

農場HACCP認証制度に興味のある方は、ぜひ当協会までご連絡ください。



認証を受け新聞社から取材を受けるHACCPメンバー（写真左）と農場HACCP認証書（写真右）

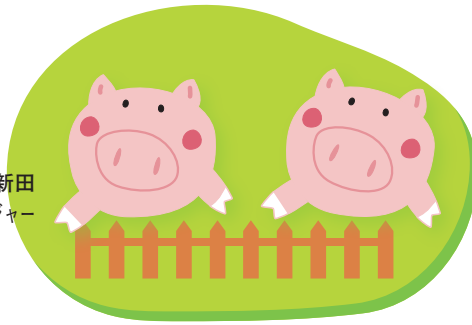




養豚経営

新潟市南区犬帰新田
有限会社アースレンジャー

渋川 伸也



全農職員

JA全農にいがた
畜産課

佐久間 千晶



『スタート』

私は父の経営する肥育養豚場で今年の春から肉豚の肥育をしています。今まで全く違う分野で働いていましたが、家業である養豚に興味を持ち始め、次第に養豚をやりたいと思うようになり就農しました。

実際に豚舎に入って、餌やりや温度管理をはじめ、体調の悪い豚には注射するなど、肥育にかかわる一通りのことを勉強中です。

豚は温度や環境の変化にとっても敏感な生き物だと聞いていましたが、豚舎に入ると自分が思う以上にそれを感じます。最初はなかなか豚の異変に気付くことができませんでしたが、豚をじっくり観察するうちに少しずつですが気付けるようになっていると感じます。パッと見てすぐに判断ができるようにもって豚の勉強をして経験を積みたいです。

経験や知識がまだまだ足りないので、分からないことばかりですが、地元の養豚生産者の先輩方や関係者の方々もご指導くださるので、とても心強いですし、嬉しく感じています。

養豚をこれからやっていく上で、今後の国際情勢の影響も出てくるかもしれませんし、大変なことも多々あると思います。

しかし、豚を育て、日本の「食」を日本の中から支える一翼を担うこの仕事は絶対に欠かせないですし、とてもやりがいがあるのではないかと思います。これから大変なことがあってもその中に楽しさを見つけ、やっていけたらと思っています。

今後の目標としては、まずは自分自身いろんな経験をしながら目の前にいる豚と向き合うこと。そして豚のことをよく知ることからスタートだと思っています。その上で将来的には一貫経営に挑戦したいと思っています。

『目から鱗の毎日』

JA全農にいがたに昨年入会した、佐久間と申します。子牛登記・登録業務をメインに肉牛の担当をしています。

私は大学の時から、将来は絶対に畜産に関する仕事がしたいと思っていました。今仕事や畜産女子会を通じて、県内の畜産農家の方々と接する機会が多いことに、とてもやりがいを感じています。

少し遡って、私の大学時代についてお話をさせてください。

大学4年間は北海道の帯広で、畜産を学んできました。その地での、学生にとってのメジャーな学生バイトといえば、収穫作業（ハーベスターの上に乗ってジャガイモ選別したり、手掘りで長芋を掘ったり・・・）や乳牛の搾乳でした。私は3軒の農家さんの元で搾乳バイトをし、搾乳作業や餌やりに掃除、時には分娩の補助を行ってきました。規模や設備も全く違い、かたやフリーストール牛舎で搾乳牛180頭規模、かたや繋ぎ牛舎の搾乳牛25頭規模でした。このバイトを通じて、教科書で習うだけではない、畜産業のリアルな“現場”を知ることができたと思っています。夏の暑い中も、冬の凍える寒さの中でも、生き物を相手に真摯に365日向き合う畜産農家の方に尊敬の念を抱いたのと同時に、将来畜産に関する仕事がしたいと思うきっかけになりました。

肉牛の業務を行うなかで、畜産って奥が深いなあと思うことばかりです。血統や飼養管理等、それぞれの農家さんによって考え方は違いますし、工夫も様々です。それこそ、教科書や畜産雑誌の中の定石だけじゃないんだということを知りました。日々勉強で、教えていただく度にハッと気づかされることも多いです。

まだまだ私は教えてもらうことばかりで、業務の中で農家の方に還元できていることは少ないですが、真摯に取り組み、早く皆さんへ貢献ができるように頑張ります。畜産農家・関係各所の皆さんには、これからもご指導のほどよろしくお願いたします。

畜産安心ブランド生産農場だより

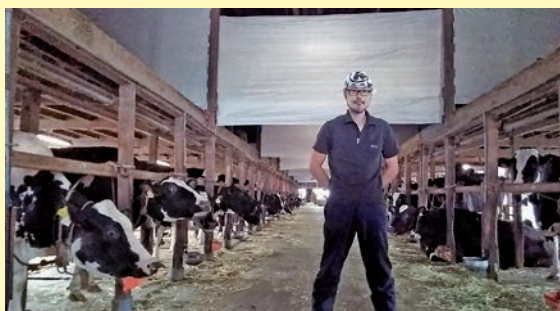
燕市：田中牧場

田中牧場は現在、経産牛約50頭で酪農を営んでいます。管理は私と父、朝パート1名と軽作業の母の4名で行っています。私自身はUターン就農者で半導体メーカーでICの設計業務に12年間携わった後に就農し、この夏で6年が経過しました。

これだけの時間が経過したことで、就農前後の仕事のことを多少は俯瞰して見るできるようになってきました。労働時間はだいたい似たようなものですが、やはり疲労の仕方は異なります。以前は精神的な、今は肉体的な疲労感を感じるのですが、どちらかといえば今の方が健康的な気がして良いかなと思います。自分で仕事の段取りを決められるためか、ストレスは少なく感じます。

一方で似ているところもあります。結局、自分というプレイヤーは周囲のサポートで成り立っているということ。以前の設計業務も関連部署のサポート無しに立ち行きませんでした。今も同じです。平成27年の12月にクリーンミルク生産農場の認定を取得した際も、中央家畜保健衛生所から手厚いご指導をいただき、乳質が大きく改善しました。

現在は繁殖サイクルの改善に取り組んでいます。去年の11月より始めた獣医による月2回の検診の成果は大きく、この秋頃から分娩が切れ目なく予定されています。これらが無事に乗り切り、年越しに美味しくビールが飲めるよう、牛たちの健康管理を抜かりなく行っていきます。



ちくさん女子の窓

酪農経営 胎内市：緒形ゆかり

3年前に、声のコーナーに、少しは酪農家の嫁らしくなったかなあと書いてから、子どもも少し大きくなり、手が離れてきたので、今は、事務、哺育、給餌に加えて、搾乳と運転も覚え、毎日忙しく過ごしています。

そんな忙しいなかの私のいやしは、やっぱりかわいい牛達です。反抗しない牛達に毎日いやされながら、楽しく作業しています。

環境整備も私のいやしの1つで、夫婦で庭づくりをしている時間が楽しく、また、お庭で従業員や子ども達とバーベキューをしたり、夫婦でお酒を飲んだりするのも楽しい時間です。

先日、作業中にお義母さんに、「すっかり酪農家のかあちゃんになったね」と言われました。そういえば、まわりの田んぼのお父さん方から、「姉さ」から「お母さん」と呼ばれるように…。年が上がったからか？と思っていたけど、少しレベルUPしたってことか？また、明日からがんばろう！



編集後記



まだ日中は汗ばむ日もチラホラありますが、虫の鳴き声がセミからスズムシやコオロギへバトンタッチされるなど、夏から秋への着実な変化を感じる今日この頃です。

変化といえば、私事ではありますがここ1年間で様々なことが起きました。目に見える事から目に見えないこと、誇れることからそうでないことまで多岐にわたります。身を取り巻く変化に適応できてこそ一人前だと思いますし、それが出来ている人は本当に立派でカッコいいと思います。私も、ちょっと手を伸ばせば届くようなことから取っ掛かりを見つけて、その背中を追いかけたいですね。

さて、真面目なお話はここまで。季節の変化を感じるべく、急いで家に帰って秋刀魚を食べなくてはなりません。冬に備えて脂肪も蓄えられるので一石二鳥ですね。(笑)

(青木 記)